

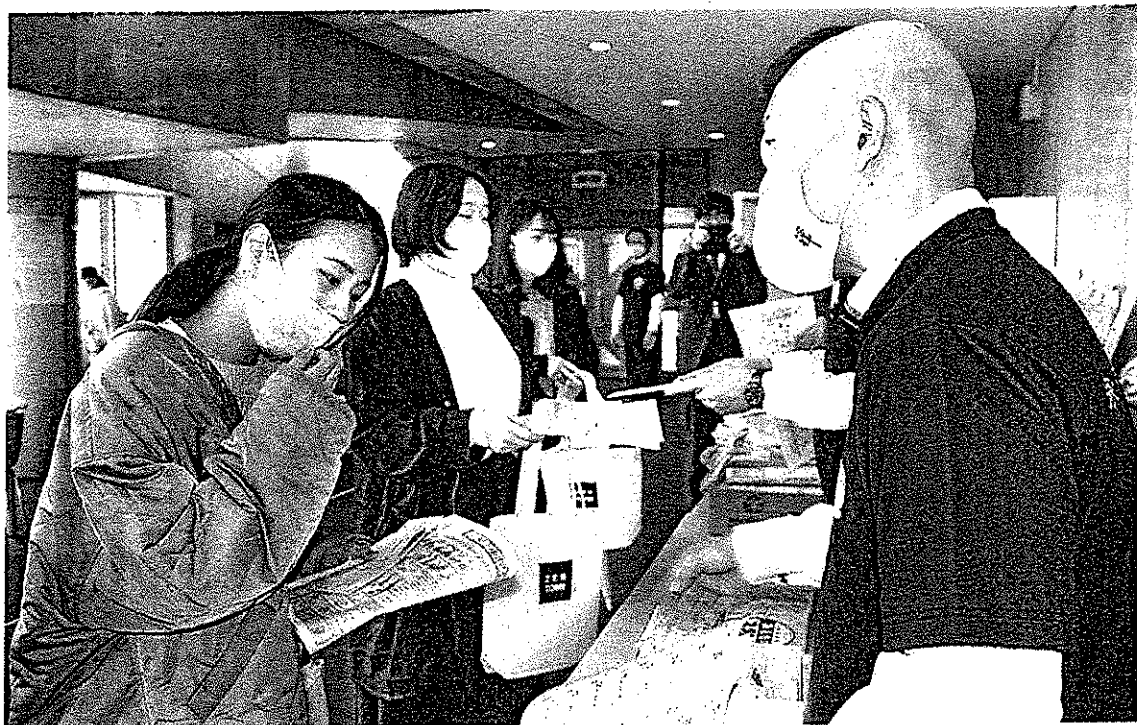
# コロナ禍学生の生活支援

永平寺町商工会  
青年部事業開始

## まず県立大で寄贈

永平寺町商工会青年部は八日、コロナ禍の中で勉強に励んでいる町内在住の学生に、生活支援品を贈る事

業を始めた。初の試みで、この日は県立大永平寺キャンパスで、学生たちに支援品のセットを手渡した。



支援品は、同青年部オリジナルのエコバッグやごみ袋、町内百二十四店舗で使える千円分の商品券などで、千セットを用意。対象となる希望者全員に配ることにしている。

この日受け取った県立大二年の矢田大貴さん(三〇)は「コロナ禍で、飲食店のアルバイトに入れなかった時期もあった。支援してもらえるのはうれしい」と感謝。同青年部の山口敏嗣部長は「大変な思いをしている学生が多くいる。勉強の支えになれば」と話していた。十日は福井大医学部、十六日は天谷調理製菓専門学校と県理容美容専門学校で配布。県立大の学生も含め当日だけでなく、後日でも学内で受け取れるようにする。(平林靖博)

学生たち(左列)に生活支援品を手渡す永平寺町商工会青年部のメンバー＝永平寺町の県立大永平寺キャンパスで